

# 行動規範



## 序文



「私たちの行動規範は、正しい行動と我々の目標が一致することを示し、導いてくれるものです。」

同僚の皆さん、

私たちは、業界のリーダーとなり、より持続可能な世界に長期的に貢献するという目標を共有しています。

私たちが事業を展開しているすべての国、すべての活動において、私たちはこれらの理念に基づく行動原則に従っています。誠実さと透明性は、法律に準拠して、同僚同士、ステークホルダー、そして環境を尊重するという私たちの活動の原動力です。

私たちは時に、複雑な状況や困難な状況に直面することがあります。行動規範は、私たちのビジネスと組織を支え、保護するものです。また、行動規範は、正しい行動が我々の目標に資することを示し、導いてくれるものです。

本規範をよく読み、行動の指針としてください。疑問を感じた場合は、遠慮なく質問し、助言を得ることを躊躇しないでください。

誠実さと透明性は、私たちの倫理原則の二本柱です。どちらも、すべてのステークホルダーから長期的な信頼を得て、それを維持するために必要不可欠です。私は、あなたが我々の行動原則を実践し、社内外で常に倫理的かつ責任ある行動をとるよう周囲を鼓舞することで、積極的な模範を示すことを期待しています。

フランソワ・ジャコウ  
最高経営責任者

# 序文

「 道徳規範と法令遵守は、持続可能で収益性の高い活動を実現するために不可欠です。 」



倫理とコンプライアンスは、持続可能で収益性の高い活動を実現するために不可欠です。また、当社では事業を展開する国の法律を遵守するとともに、誠実さと透明性の文化を推進しています。安全かつ健全な職場を確保し、人権を尊重し、環境を保護し、不正腐敗行為に對抗することが、この原則の成果です。

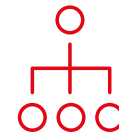
この新しい行動規範は、2007年に発表された行動規範と、2009年に発表された汚職防止行動規範に代わるものです。最新の規制の展開、ベストプラクティス、リスクマッピングを考慮し、内容も充実した使いやすい文書となっています。

この規範は、私たち全員が従う必要がある倫理的な規則と、期待される行動を示しています。また、推奨される行動例や倫理的な行動が求められる実際の状況についても説明します。これらの規則を理解し、共有し、遵守することが重要です。

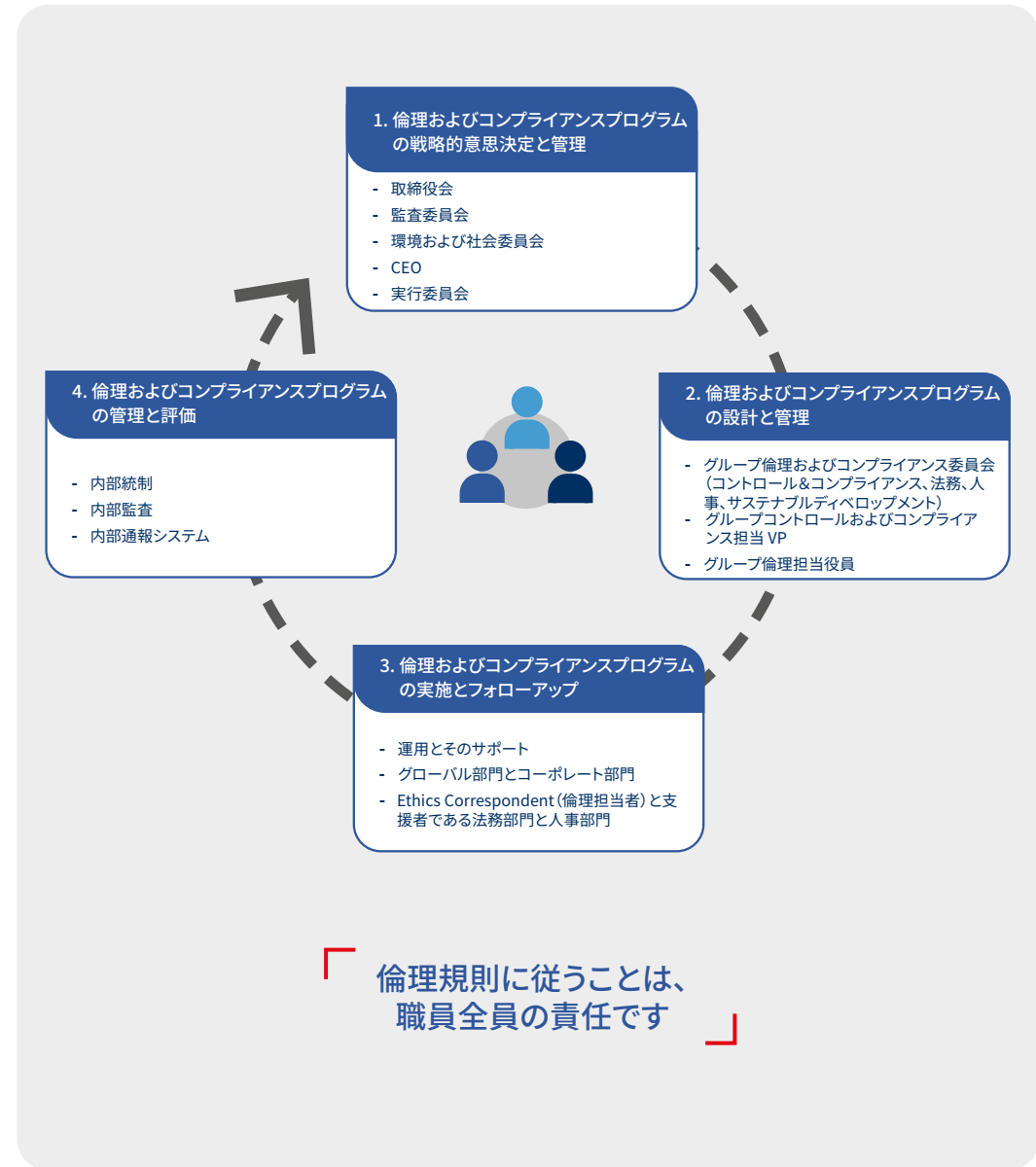
倫理的な問題はときに複雑です。心配事を自分だけで抱え込まず、声を上げ、サポートを求めてください。あなたの上司、倫理担当者、法務部門、そして私は常にサポートができる存在です。

誠実さと透明性を持って行動していただき、ありがとうございます。

エマニュエル・ラルド  
グループ倫理担当役員



# Air Liquide 倫理およびコンプライアンス組織





## 規範の範囲と期待

本行動規範は、親会社の Air Liquide S.A. およびその支配下の事業体（以下、「Air Liquide」）のすべての従業員、役員、および取締役に応用されます。本規範は、Air Liquide コンプライアンスプログラムの一部であり、リスクマッピング、定期的なトレーニング、その他の関連ポリシーも含まれます。この行動規範の原則は、その立場にかかわらず、誰もが尊重しなければなりません。

Air Liquide は高い倫理基準を推進し、私たちの価値を共有するビジネスパートナーと協力することを目指しています。Air Liquide は、すべてのビジネスパートナー（請負業者、サプライヤー、流通業者、コンサルタントなど）が、この行動規範およびサプライヤーの行動規範の原則（該当する場合）を遵守することを期待しています。

Air Liquide では、「より厳格な規範の遵守」の手法を採用しています。これは、例えば、現地法が行動規範の条件より厳しい場合、現地法を優先する必要があることを意味します。行動規範の条件が現地法より厳しい場合は、行動規範を適用する必要があります。ただし、行動規範と現地法に矛盾がある場合は、行動規範よりも現地法が優先されます。



## 行動規範の遵守

すべての従業員は、倫理に関する年次トレーニングとともに本行動規範の条項を遵守の誓約をします。

この行動規範の要件に違反した人物は、内部規則に従った、懲戒処分（解雇を含む）に加え、潜在的な法的措置の対象となります。

処分を課す前に、各事業体の責任者は法務部門、人事部門、および倫理担当者・倫理担当役員と協議し、懲戒処分について通知する必要があります。



# 概要

1

2

3

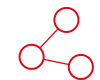
4

<<Home>>ボタンで要約へ戻る



# 1

## 注意を伴う行動





## 安全性とセキュリティ

すべての従業員とパートナーのために安全で安心できる職場環境を確保することは、Air Liquide の優先事項です。従業員の健康・生活のため、事故をゼロにすることがALグループの目標です。



### 何を知る必要がありますか？

- すべての従業員は、安全で安心できる環境で仕事をする権利を有します。
- ALグループは、Air Liquide が事業を展開する従業員、下請業者、サービスプロバイダーに適用される安全（産業リスクの防止）およびセキュリティ（迷惑行為に関連するリスクの防止）に関する方針、基準、および手順を策定しました。
- 第三者のサイトで作業する場合、従業員は第三者機関の安全およびセキュリティに関する規則を認識し、それに従う必要があります。
- Air Liquide は、製品とサービスの安全性と品質を確保し、責任を持って推進します。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 安全な作業環境を確保するために設計され、適用される法律、規制、および関連するすべての Air Liquide のポリシーを遵守する。
- 安全トレーニングに参加し、重大な事故（火災、攻撃など）が発生した場合は、該当するすべての緊急手順に従う。
- 危険をはらむ状況、安全でない慣行、設備等は速やかに報告する。この事案はファシリティーまたは HSE（健康、安全、環境）マネージャーへの報告案件です。

### さらに先へ進みたい場合は？

上司、ファシリティーマネージャーまたは HSE マネージャー、人事マネージャーに連絡するか、グループセキュリティイントラネットおよび安全イントラネットを参照してください。

## 実際に

### この状況では

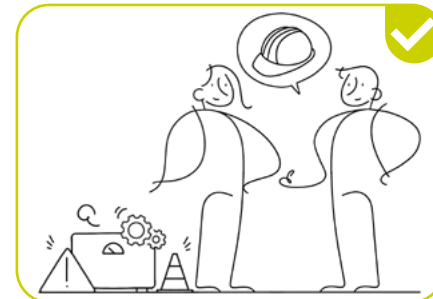


巡回中に、あなたは回転部品の安全装置が交換されていないことに気づきました。

その機械は稼働中であり、何かまたは誰かが巻き込まれてしまう危険があります。

ただし、機器を停止したり、お客様にとっての不都合を招くことなく、状況を修正することは簡単ではありません。

### どうすべきでしょうか？



**安全が最優先事項です。**

直ちに危険を警告する標識を掲げ、その領域の安全を確保するための措置を講じることができるように上司に通知する必要があります。

これは、必要に応じて、ガードを固定する装置を停止し、装置の周囲に別のバリアを設置し、エリアへのアクセスを制限することを意味します。



### 危険な状況の例

- 指定エリア外での喫煙 - 可燃性の製品（水素、アセチレン、オイルなど）の近くなど、保管または通気エリア。
- 個人防護用具（PPE）を未着用。重傷や病気、さらには死亡につながるおそれがあります。
- 出張中等、特にルールが厳格な地域における安全規則違反



## 平等、多様性、 ハラスメントの防止

Air Liquide は、民族、性別、年齢、障害、または性的指向などに関係なく、多様性と平等なキャリア開発の機会を促進し、ハラスメントや差別を容認しません。



### 何を知る必要がありますか？

- Air Liquide は、すべての従業員に平等な機会を与えて、その能力を最大限に発揮させます。
- Air Liquide は、身体の不自由なお客様にも包括的な環境を提供することに取り組んでいます。
- Air Liquide は、いじめ、セクシャルハラスメント、暴力、または脅迫的な職場を作り出す行為を含む、あらゆる種類のハラスメントのない職場を支援し、促進します。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、当社への就業応募者および管下の従業員を、専門的なスキルとパフォーマンスに直接関連する成果と行動に基づいて評価します。
- 私は、すべての人に対し、尊厳と敬意を持って対応し、攻撃的、威嚇的、差別的な行為をしません。



### さらに先へ進みたい場合は？

上司または人事部門に連絡してください。

## 実際に

### この状況では



新しい同僚があなたの部署に加わりました。あなたは、その同僚に歓迎の意を伝えなかったのですが、誤解されてしまったようです。

その同僚はあなたをデートに誘い続け、困惑するようなコメントをしています。あなたが興味がないことを丁寧に説明しても、その同僚は諦めようとしません。

あなたはその同僚の存在を不快に感じています。

### どうすべきでしょうか？



あなたの同僚の行動はハラスメントと見なされる可能性があります。あなたは同僚に止めるように依頼し、さらに、上司または人事部門に問題を報告する必要があります。

内部通報プラットフォームから倫理に関する通報を行うこともできます。Air Liquide は、事案を報告したことにより生じる悪影響からあなたを確実に保護します。



### 許容できない行為の例

- 文化的背景が異なるために、ソーシャルイベントから除外されている同僚がいる。
- 人種、宗教、文化について、従業員がその同僚に不適切な冗談を言い続けている。
- 上司が横暴にふるまって、チームのメンバーを侮辱している。





## 当社資産の保護 (物理的資産および知的財産)

イノベーション指向の企業である Air Liquide の資産は、物理的資産だけでなく、テクノロジー、発明、ノウハウなどからも構成されています。それらは、細心の注意を払い、業務に関連する目的でのみ使用する必要があります。



### 何を知る必要がありますか？

- Air Liquide は、他者による不適切な流用を防止するために、知的財産権（特許、商標など）を通じてALグループで開発されたイノベーションを保護します。
- 会社の資産を傷つけたり、盗んだり、無駄にしたり、知的財産権に違反したりすることは、会社の業務および財務実績や会社の評判に悪影響を及ぼします。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、Air Liquide の資産とリソースを、破損、改ざん、詐欺、紛失、盗難から保護します。
- 私は、会社の資産またはリソースを使用して作成されたイノベーションまたは発明について会社に申告します。
- 私は、第三者の知的財産権を尊重します。
- AirLiquideの資産とリソースは合法的なビジネス目的でのみ使用し、グループのエンティティがリシーで設定されたフレームワーク内で使用します。



### さらに先へ進みたい場合は？

上司、地域またはハブのセキュリティ担当者、知的財産部門に問い合わせるか、知的財産イントラネットを参照してください。

## 実際に

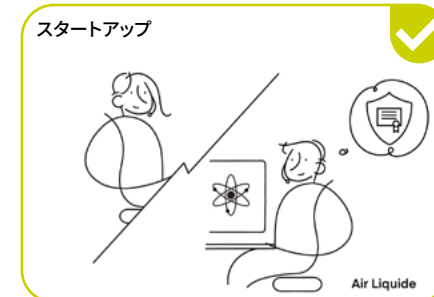
### この状況では



スタートアップ企業があなたに連絡して、将来的な共同作業に向けての提案や、革新的な技術ソリューションについての話し合いを提案します。

Air Liquide は、同様の研究開発 (R&D) プロジェクトに取り組んでいます。

### どうすべきでしょうか？



第三者との話し合いの前に、知的財産権に関する争いを避けるために、当社の情報が保護されていることを確認し、第三者の情報も保護されているかどうかを確認する必要があります。

機密情報を交換する前に、知的財産部門の支援のもと適切な契約（機密保持契約など）を締結してください。



### 保護すべき資産の例

- 技術的な発明、社外秘のノウハウ、工業デザイン（図面、製品の外観など）。
- 当社事業に関わる商標、名称、およびロゴ。
- 事業所、スベア部品、医療機器、シリンダー、トラック、オフィス。



## 機密保持

よりデジタル化された環境において、当社とパートナーのビジネス情報を維持するには、私たちの責任と警戒が不可欠です。



### 何を知る必要がありますか？

- 機密情報とは、公開されていない、当社の活動やビジネスパートナーの活動に関連する情報です。これには、技術情報とビジネス関連情報の両方が含まれます。
- Air Liquide は、従業員が、ALグループ、顧客、その他のビジネスパートナーに関する機密情報を社内規程を遵守し、保護するための関連措置を講じることを期待します。
- デジタル保護の行動規範には、デジタル情報を扱うための措置と適用可能なルールの詳細が記載されています。



### 私は何を期待されているでしょうか？

- 私は、戦略的、財務的、技術的、または商業的な性質を持つ、非公開の機密データおよび文書を保護し、保持します。
- 私は、機密情報の社内開示は、必要がある場合に限りします。
- 私は、機密保持契約を締結することにより、ビジネスパートナーがAir Liquide から提供された情報を機密情報として保持することを求めます。同様に、私は、クライアントまたはその他のビジネスパートナーに対して行われた機密保持に関する契約を厳守します。
- 私は、私が Air Liquide を退社した後も、機密保持義務が継続することを理解しています。



### さらに先へ進みたい場合は？

上司、法務部門または知的財産部門に連絡し、デジタルセキュリティイントラネットを参照してください。

## 実際に

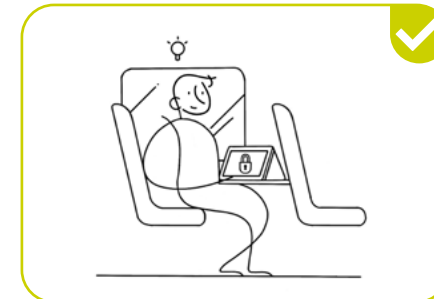
### この状況では



あなたは、定期的と同僚と電車や飛行機を使って出張しています。

公共交通機関で過ごす時間を使って、仕事をしたり、次回の会議の準備をすることがよくあります。自分たちの会話が外部に筒抜けになっている場合があることに気づいています。

### どうすべきでしょうか？



現場やオフィスから離れて仕事する場合は、機密情報が漏洩しないように細心の注意を払う必要があります。

公共エリアでは、機密事項を扱ったり、個人または会社 (ALグループ、クライアント、またはビジネスパートナー) の名前に言及してはいけません。また、ノートパソコンにはプライバシースクリーンを使用する必要があります。



### 禁止行為の例

- 同僚 (チームメンバー、同じ会社の従業員) を含む他者から自分のパスワードを保護しない、又は他者に自分のパスワードを開示する。
- 適切な保護 (暗号化、安全な電子メールの使用、承認された仮想プライベートネットワーク VPN など) を行わずに機密データを処理する。
- 特に雇用契約が終了した時点で、機密情報を取得またはコピーする。



## データプライバシー



各個人のプライバシー権は、Air Liquide にとって重要な関心事です。当社は、従業員、ビジネスパートナー、患者、またはその他の個人データを取り扱う際に、適切な保護を提供するために必要な措置を講じています。



### 何を知る必要がありますか？

- 個人データとは、個人を特定できる身元情報に直接的または間接的(他のデータとリンクされている場合)につながっているデータを指します。
- Air Liquide は個人データ(収集、保存、使用、転送、表示および削除)を、適用される法律および規制に厳密に従って処理します。
- 個人データは特定の目的のために収集し、合法的にアクセスして安全に保管する必要がある人とのみ共有する。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、個人データを、特に Air Liquide の外部に開示する場合は、必ず適用される法律および社内規程に従って取り扱います。
- 私は、個人データが漏洩した場合は、直ちに上司または情報保護コーディネーター (IPC) に報告します。



### さらに先へ進みたい場合は？

情報保護 コーディネーター (IPC) または法務部門に問い合わせ、デジタルセキュリティイントラネットを参照してください。

## 実際に

### この状況では



あるビジネスパートナーが、同僚たちの個人的な住所を聞き出して、最新の製品見本を送ろうとしています。

同僚たちは喜ぶかもしれませんが、あなたはこの情報を共有できるかどうか疑問に思います。

### どうすべきでしょうか？



従業員の氏名および個人住所は個人データを構成するものであり、地域の法律によっては、一定の条件を満たした場合のみ共有は許可されます。

このような情報を共有する前に、法務部門または情報保護コーディネーター (以下「IPC」) に、作業を続行できるかどうか、および許可されている場合はその方法を確認する必要があります。



### 禁止行為の例

- 必要以上に長い期間、許可された個人データを保持する
- 患者の健康や治療に関する情報を開示する



## 外部コミュニケーションとソーシャルメディア

「Air Liquide は、すべてのステークホルダーとのオープンで信頼性の高いコミュニケーションに取り組んでいます。すべての従業員は、外部のコミュニケーションやソーシャルメディアを取り扱う際に、慎重かつ専門的な行動を通じて、ALグループの評判の保護とプロモーションに貢献する必要があります。」



### 何を知る必要がありますか？

- Air Liquide は、メディア、ビジネスパートナー、資本市場を含むすべてのステークホルダーに伝達される情報の品質と正確性を確保するために細心の注意を払います。
- すべての従業員は、会社の評判とイメージについて、一体となった責任を共有します。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、会社から特別に許可されていない場合は、質問に回答したり、Air Liquide を代表して約束をしたりしません。報道機関から連絡があった場合は、上司に連絡し、担当の広報部門に問い合わせ問題を確認してもらうように伝えます。
- 私は、自分の業務、ALグループ、または職場環境に関する、オンライン投稿またはあらゆる形式のソーシャルメディアを使用する場合、常識とプロ意識を持って行動する必要があります。
- 自ら望む場合、私は、個人のソーシャルメディアアカウント（プレスリリース、airliquide.com の Web 記事、Air Liquide の公式ソーシャルメディア投稿、求人情報）上で Air Liquide の公式コミュニケーションを共有できます。
- 自分の仕事に関連するテーマについて外部から講演を依頼された場合、まず、上司と広報部門にその件について検討する必要があります。

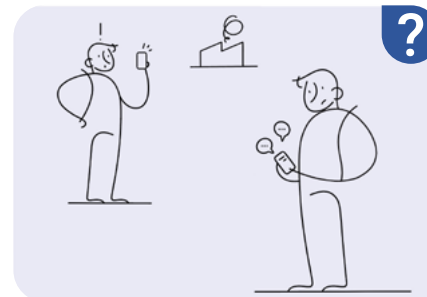


### さらに先へ進みたい場合は？

上司または広報部門に連絡し、Air Liquide の従業員によるパブリックソーシャルメディアの使用に関する規程を参照してください。

## 実際に

### この状況では



Air Liquide の工業敷地で事故が発生しました。ソーシャルメディアで、多くの人がコメントしているのを見かけます。事実とは異なると思われるコメントもあり、あなたはそれによって Air Liquide の評判が損なわれる可能性があるかと危惧しています。

あなた自身のコメントを掲示することで、問題を解消したいと思っています。

### どうすべきでしょうか？



あなたは会社を代表して発言する権限がないため、コメントの投稿は控えるべきです。ただし、必要に応じて適切な対応を準備できるように、問題を広報部門に報告しておく必要があります。



### 禁止行為の例

- ソーシャルメディア上で機密情報（プロジェクト、顧客、ALグループなど）を共有する。
- 外部のコンサルティング会社からの問い合わせやアンケートへの回答を通じて、機密情報を開示する。

# 2

誠実で透明性  
のある行動







## 利益相反

Air Liquide は、従業員の個人的な関心事やプライベートな生活を尊重しています。ただし、Air Liquide の利益と個人の利益との対立を避け、そのような紛争を引き起こす可能性のある関与や関係については報告することが重要です。



### 何を知る必要がありますか？

- 利益相反は、個人的な利益がALグループの利益に影響を及ぼす可能性があり、その結果、判断に影響を与える可能性がある場合に発生します（例えば、従業員が株主である会社と契約を締結する場合など）。
- 利益相反が開示されていない場合、特別扱いしているという印象を与え、ALグループの評判やビジネス上の利益が損なわれる可能性があります。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、私生活と仕事との間に利益相反やそのような対立が生じる可能性のある状況を回避します。
- 私は、無料であっても、サプライヤー、顧客、競合他社の仕事や相談は引き受けません。
- 私は、既存の利益相反や潜在的な利益相反を遅滞なく上司に開示し、ALグループと関係する第三者との関係に一切関与しません。

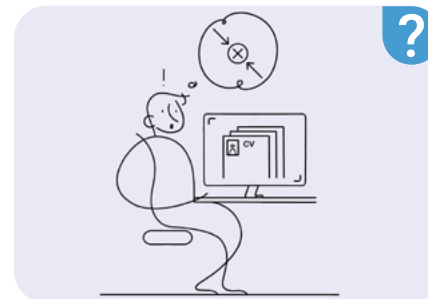


さらに先へ進みたい場合は？

上司または倫理担当者に連絡してください。

## 実際に

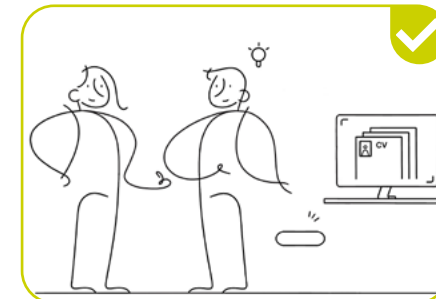
### この状況では



求人情報には、具体的な資格が掲載されています。あなたは採用を担当するマネージャーであり、応募者の1人は親戚です。

あなたは自身が、候補者を選択する場合、客観性を維持して、個人的な関係に影響を受けずに選択できると考えています。

### どうすべきでしょうか？



あなたは、候補者に関連していることを上司または人事マネージャーに開示し、すべての候補者が公正かつ客観的に扱われるように、選択プロセスから自分自身を除外する必要があります。

こうした意思決定に関与することは、公私混同と見なされ、ALグループの評判や自分の評判に悪影響を与える可能性があります。



### 利益相反の可能性の例

- Air Liquide の所有物やリソースを個人的に使用する
- あなたまたはあなたの家族が個人的な利益（金銭的またはその他）を得ている第三者との Air Liquide ビジネス取引に関与する



## 汚職と優越的地位の濫用

正直さと誠実さにおけるビジネスパートナーやその他すべてのステークホルダーの信頼は、最優先事項です。私たちは、あらゆる形態の汚職、優越的地位の濫用、一般的な信頼への裏切り行為に対しては一切容認しない姿勢で挑んでいます。



### 何を知る必要がありますか？

- 汚職は、不当な利益を得るために、公務員または民間人に対して、何らかの価値のあるものを直接または間接的に提供、約束したり、その支払いを行ったり、承認したりする場合に発生します。
- 汚職には、不当な利益を得るために、公務員に働きかける目的で何か価値のあるものを約束したり、受け取れるようにしたりする優越的地位の濫用も含まれます。
- 価値 (Value) の概念は広く理解されるべきであり、特に現金、贈答品、旅行、政治献金、慈善寄付、ビジネス上の利便、雇用の提供など多岐に及びます。
- 公務員 (Public Official) とは、市町村などの役所で働く人々、選挙で選ばれた公職者、政府所有企業や国際機関の職員などを含む幅広い概念です。
- 企業と同様に、汚職防止法に違反した場合には、その個人は重い民事および/または刑事制裁の対象となる場合があります。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

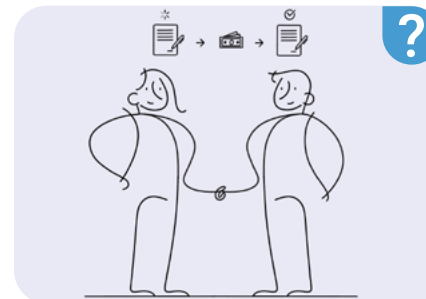
- 私は、汚職防止に関連する必須トレーニングに従います。
- 私は、ビジネス関係において誠実に行動し、必要に応じ適切な配慮をし、すべての取引が正当化され、適切に文書化され、正当に承認されていることを確認します。
- 私は、警戒を怠らず、危険信号や疑わしい取引を無視せず、疑いがある場合は、上司に報告するか、内部通報システムを使用します。

### さらに先へ進みたい場合は？

上司、倫理担当者、法務部門に連絡し、腐敗防止に関する倫理イントラネットリソースを参照してください。

## 実際に

### この状況では



あなたは、公的機関との長期契約を更新中です。最近退職した公務員が、取引手数料と引き換えに、その機関がより有利な条件で契約を更新するために、その元公務員の取引先を使用することを提案しました。

### どうすべきでしょうか？



あなたは丁重に断って、すぐに上司および法務部門/コンプライアンスの社内リソースに連絡する必要があります。

実際、この提案は当社の腐敗行為防止のポリシーと矛盾しています。Air Liquide がこのようなオファーを拒否することに疑いはありません。



### 禁止行為の例

- 営業許可を得るために公務員にお金を支払う。
- 進行している入札に関する独占的な情報を入手するために、潜在的な顧客に対して不当な利益を提供する。
- 公的な契約締結への働きかけと引き換えに、政府大臣に対して取締役への就任を約束する。
- 適切な検証なしに、第三者と契約を締結したり、買収プロジェクトに取り組む。



## 仲介者

仲介者（コンサルタント、アドバイザー、販売代理店、流通業者など）の種類によっては、重大な汚職リスクがあるため、絶対に必要な場合にのみ使用するよう心がけます。ビジネス関係を築く前およびその最中に、注意を払う必要があります



### 何を知る必要がありますか？

- 仲介者を介して間接的に贈賄を行った場合は、直接行った場合と同じように、Air Liquide とその従業員は法的処罰の対象となる可能性があります。
- Air Liquide、その取締役および従業員は、たとえ会社によって承認または知られていなくても、仲介者が行った贈賄またはその他の支払いに対して責任を負うことになります。
- Air Liquide は、このようなリスクを軽減するために、仲介者の選定と使用に関する手順を公表しています。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、仲介者には正当な必要性があり、内部リソースが同じ結果を達成できないことを確認します。
- 私は、取引関係を締結または更新する前に、仲介者（株主を含む）の評判の背景と資格について、徹底した適性詳細調査を実施します。
- 私は、Air Liquide と仲介者との契約が、腐敗行為を明確に禁止し、支払い済みの料金が役務の提供と一致していることを確認します。

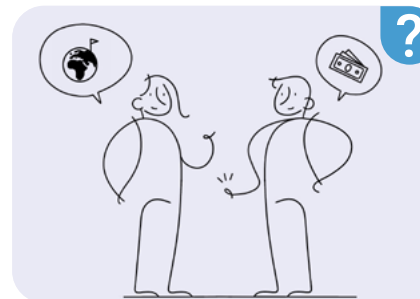


### さらに先へ進みたい場合は？

上司、倫理担当者、法務部門に連絡し、仲介者の選定と使用に関する手続きを参照してください。

## 実際に

### この状況では



Air Liquide は、新たな国における主要プロジェクトの入札に参加しています。

仲介者は、Air Liquide が入札に参加することを保証できると主張し、適切な意思決定者にコミッションを支払う必要があると示唆しています。

### どうすべきでしょうか？



この提案は Air Liquide のポリシーと矛盾するため、あなたは提案を拒否して、その関係を終了する必要があります。

このインシデントは、マネジメント、法務部門、および倫理担当者に報告して、さらなる措置を講じる必要があります。



### 注意すべき状況

- 役務が実施され、詳細に文書化されている証明なしに、請求書を承認しないでください。
- 自分ではないことを、仲介者にしてもらうことは絶対に避けてください。
- 仲介者による Air Liquide を代表した補助金/寄付を許可しないでください。



## 贈答品と接待

適切な価値とみなされる贈り物や接待の提供や受領は、ビジネスにおける日常的な活動の一部です。ただし、不適切な利益を得るために提供または受領した場合は、汚職とみなされます。



### 何を知る必要がありますか？

- Air Liquide は、汚職のリスクを軽減するために、贈答品、接待、娯楽、寄付に関するガイドライン(以下「ギフトポリシー」)を制定しています。
- 贈答品や接待の合理性、タイミング、頻度は、良好なビジネス関係を維持し、法的および倫理的な約束を遵守するための適切なバランスを見つけるための重要な基準となります。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 贈答品や接待を提供したり受けたりする場合は、次の質問を自分自身に尋ねる必要があります。
  - 贈答品や接待のおおよその価値はどれほどですか？妥当ですか？
  - この贈答品の背景に何がありますか？要求されているか、または期待されていますか？
  - その贈答品や接待は、将来の意思決定に影響を及ぼすリスクがありますか？
  - その贈答品や接待の存在が公開されているとしても、同じ判断をしますか？
- 贈答品や招待状が提供または受領される前に、ALグループのガイドラインと所属組織のポリシー(ある場合)を参照する必要があります。

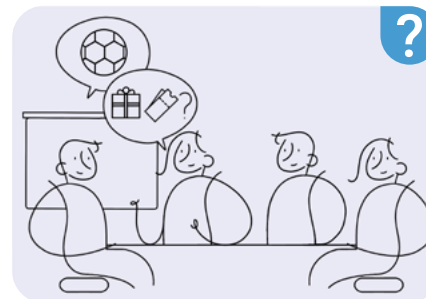


### さらに先へ進みたい場合は？

上司、倫理担当者、法務部門に連絡して、ALグループのギフトポリシーを参照してください。

## 実際に

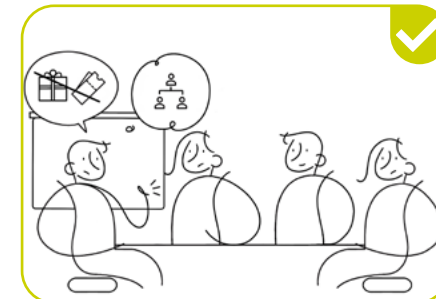
### この状況では



あなたは、最終候補として残ったサプライヤー3社と重要な発注の交渉をしています。

話し合いの中で、サプライヤー1社の担当は、あなたが自分と同じサッカーチームを応援していることを知り、VIP ロッジでの観戦チケットを提供してきました。

### どうすべきでしょうか？



不適切な利益と引き換えに、供給契約を確保しようとする試みと見なされる可能性があるため、この申し出を拒否しましょう。

実際、タイミングが不適切(入札期間中)で、その招待の価値は高すぎます。

この働きかけを上司に報告してください。



### 不適切な行動の例

- Air Liquide 製品の処方と引き換えに、医療従事者に贈答品を提供する。
- 現金または現金同等物(電子カード、ギフトカードなど)で贈答品を受受する。

## 公正な競争

自由で公正な競争によって最高の製品と役務を提供することは、当社にとって成功の鍵となります。私たちは、事業を展開するあらゆる場所で、公正に競争し、適用される競争法を遵守することを約束します。

### ？ 何を知る必要がありますか？

- 競争法は、顧客やサプライヤーとの交渉、競合相手との接触、マーケティングおよび販売、合併と買収(M&A)取引など、さまざまなビジネス関係に適用されます。
- 特に、以下の行為は禁止されています。
  - 価格に関する合意または協議(価格カルテル)または他の取引における条件(製造または顧客または商業地域の割り当ての制限など)に関する競合他社との合意または協議。
  - 競合他社間の機密情報(価格、コスト、戦略)の交換。
  - 該当する市場における支配的地位の濫用(差別的取扱い、不当廉売、抱き合わせ販売など)。
- 競争法に違反した場合、世界中のほとんどの国または地域では、個人および法人の両方に厳しい制裁が科されます。このような制裁は、会社の評判に深刻な損害を与える可能性があります。

### ✓ 私は何を期待されているのでしょうか？

- 競合他社、顧客、サプライヤーと取引する場合、会社の独占禁止法ガイドラインを熟知し、遵守しています。
- 競合他社とのコミュニケーションは慎重に行い、コミュニケーションが必要な場合は社内ガイドラインに従います(例えば、業界団体、ジョイントベンチャーなど)。
- 独占禁止法当局によって誤解される可能性のある口頭または書面によるコミュニケーションでの発言を避けています。

さらに先へ進みたい場合は？  
上司または法務部門に連絡し、会社の独占禁止法ガイドラインを参照してください。

## 実際に



ある会議で、特定の製品の価格を 10% 値上げる意向があり、あなたの事業体もその新しい価格に同調するかどうかを競合他社の 1 社から尋ねられました。



競合する企業同士は、価格戦略に関する情報を共有してはなりません。すぐに相手に、相手のコメントや質問が不適切であることを伝えて、退出しましょう。

あなたは上司と法務部門に会話を報告する必要があります。

### ✗ 禁止行為の例

- 競合他社や潜在的な競合他社を排除または除外することを目的とした行為に参加する。
- 競合他社と機密情報を共有する。
- 競合他社に関する情報を入手するために、違法または非倫理的な行動をとる。





## 情報の透明性と完全性

透明性と信頼性の高いビジネス情報、財務情報、および追加財務情報を伝達することは、すべてのステークホルダーとの信頼を維持するための鍵となります。



### 何を知る必要がありますか？

- 会計帳簿、財務記録、契約書、領収書、請求書、経費勘定など、さまざまな文書が含まれるため、財務報告の正確性はすべての人が共有する責任です。
- Air Liquide は、情報の信頼性に貢献する強力な内部制御システムを導入しています。
- 不正確なビジネス情報や財務情報の報告は、Air Liquide のパフォーマンスや評判に深刻なダメージを与える可能性があります。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、ビジネスおよび財務情報の分析、ファイリング、またはコミュニケーションは、細心の注意を払い、誠実さと透明性を確保したうえで、社内の会計および記録管理プロセスに沿って実施します。
- すべての取引は、ALグループの会計原則に沿って、適時かつ正確な方法で適切に文書化し、報告する必要があります。
- 私は、内部統制のシステムの有効性に貢献し、熱意と透明性を持って、内部監査または外部監査に協力します。



### さらに先へ進みたい場合は？

上司、財務部門、サステナビリティ・ディベロップメント部門に連絡し、Bluebook ファイナンスポリシーとサステナビリティポリシーを参照してください。

## 実際に

### この状況では



あなたは、四半期の財務記録を確認していたところ、あるサプライヤーからの大量の請求書が記録されていることに気づきました。

そこで関連する取引と仕入先の ID を確認したところ、その会社は実際に仕入先のデータベースに登録されていますが、請求書は実施された役務と一致しませんでした。

### どうすべきでしょうか？



不正行為を示唆する不審な請求書を処理している可能性があります。

あなたはこれを上司および財務部門に直ちに報告し、さらに調査を依頼する必要があります。



### 禁止行為の例

- 不完全または間違った情報を意図的に予約する。
- 不正確または水増しした交通費・接待費の費用精算の提出。
- ALグループの内部または外部レポートにおける意図的な過小評価 (CO2排出量、事故発生率、商品のコスト) または過剰見積もり (販売、マージンなど) のKPI。



## その他の取扱いに注意を要する業務

特定の業務には、特に汚職の観点からリスクが伴うため、十分に注意する必要があります。具体的な業務の例を以下に示します。

### 政治献金



#### 何を知る必要がありますか？

- Air Liquide は、現地の法律で認められ、正式に社内承認された場合にのみ、極めて特殊な状況で政治献金を行います。
- 政治献金の提供に関わる確認プロセスについては、ALグループのギフトポリシーで詳しく説明しています。



#### 私は何を期待されているでしょうか？

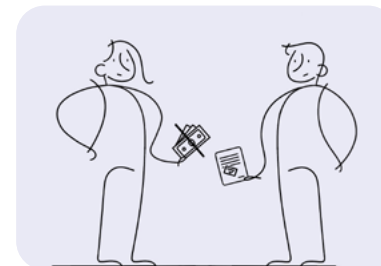
- 私は、第三者からの政治献金の提供要請があった場合は、上司に伝えます。
- 私は、個人の政治活動とALグループ内の専門的な活動を区別しています。



#### 禁止行為の例

- 契約の確保を求める顧客の要求に応じて政治献金を行う。
- 自分の個人的な政治活動のために、Air Liquide における肩書を利用する。
- 個人の政治活動にALグループの資金やその他の資産を利用する。

## ファシリテーションペイメント/個人の安全のための支払い



#### 何を知る必要がありますか？

- ファシリテーションペイメントは、一般に公務員に比較的小額の現金支払いを行い、公務員に行政手続きの迅速化を促すものです。
- Air Liquide のポリシーでは、現地法で許可されている場合でも、ファシリテーションペイメントは許可されません。
- ただし、差し迫った身体的危害または身体的な拘禁の脅威（「個人の安全のための支払い」）と判断される状況では、支払いが可能です。



#### 私は何を期待されているでしょうか？

- 私は、ファシリテーションペイメントの支払い請求を拒否し、上司、法務部門、倫理担当者に勧誘を通知する必要があります。
- 私は、個人的な安全上の支払いについては、直ちに上司および倫理担当者に報告する必要があります。

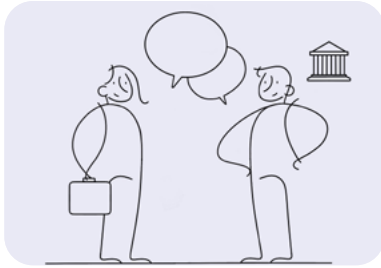


#### ファシリテーションペイメントの例

これには、次のようなプロセスを促進または促進するための手数料が含まれます。

- 貨物の積み下ろしを優先的に処理する。
- 許可、ライセンス、ビザ、その他の公式文書の取得を迅速化する。

## ロビー活動/広報活動



### ? 何を知る必要がありますか?

- ロビー活動とは、人や団体が公的機関の決定に影響を与えようとする活動を指します。ロビー活動は多くの場合、現地の法律によって規制されています。不適切に行われた場合、ロビー活動が腐敗行為と見なされる可能性があるため、注意が必要です。

### ✓ 私は何を期待されているでしょうか?

- Air Liquide の利益を一般の意思決定者に宣伝する場合、私は事業体の代表者の責任の下で、誠実で透明性のある活動を行っています。事前に現地またはALグループの広報部門に相談します
- 私は、ロビー会社（その取締役や株主を含む）を任命する前にデューディリジェンス（適性詳細調査）を実施し、政策渉外に関する部門の承認を求めます。その後、役務の履行について厳密にフォローアップします。

### ✗ 禁止行為の例

- 求められる当局へのロビー会社の必須義務を開示しない。
- 提供された役務に照らして不当かつ適切でない金額でロビー活動会社に支払いを行う。

## 慈善寄付



### ? 何を知る必要がありますか?

- 慈善寄付とは、Air Liquide が、見返りを期待することなく、その目標を達成するために、団体に提供する有価物です。
- Air Liquide は、寄付の検証プロセスを含むALグループのギフトポリシーが尊重されているという条件で、団体を支援する場合があります。

### ✓ 私は何を期待されているでしょうか?

- 寄付とスポンサーシップのチェックリスト（ギフトポリシーの別紙 4）に従い、特に以下の点に注意します。
  - 私は慈善行為の質、評判および目的につき必要なデューディリジェンス（適性詳細調査）を行います。
  - 私は適切な承認を得ます。

### ✗ 禁止行為の例

- 公務員や第三者に影響を与えるために慈善団体に寄付を行い、会社に不当な利益をもたらすこと。
- 会社のアカウントで寄付金を隠すこと。

## インサイダー取引



### 何を知る必要がありますか？

- インサイダー取引は、インサイダー情報を使用して直接的または間接的に取引を行うことで発生します。
- インサイダー情報とは、公開されていない詳細な情報であり、公開された場合には、上場企業の金融商品（株式、債券など）の価格に大きな影響を与える可能性がある情報です。
- インサイダー情報には、業績、買収、合併、売却、大規模契約、訴訟、または調査などが含まれます。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、インサイダー取引の防止に関連する適用法および内部のポリシーに従います。
- インサイダー情報に関与している場合、私はこの情報を機密情報として保持し、Air Liquideの株やその他の証券を自分自身で取引したり、第三者（家族、同僚など）に取引するように勧めることはありません。
- インサイダー取引の禁止はAir Liquideに限定されないため、上場しているビジネスパートナーの情報には注意が必要です。



### 禁止行為の例

- Air Liquideの取引に関して触れてしまった秘密情報（仕切りの無い会議室、プリンタに残された用紙など）を使用して、Air Liquideまたは他社の株式を購入する。
- 自分自身で金銭的に利益を得る立場にない場合でも、家族や友人にインサイダー情報に基づいて株式を購入するよう提案する。

## 国際貿易とマネーロンダリング



### 何を知る必要がありますか？

- 国際貿易に関わる法令は取引の禁止や制限を課す場合があり、また、国境を越えた物品交換に関して、当局またはその他の監視機関からの承認を求められる場合もあります。
- 疑わしい取引では、資金の不正な出所（マフィア組織、麻薬取引、武器売買、恐喝、汚職など）を隠した上で、「ダーティーマネー」を合法的な活動に再投資するという、マネーロンダリングに関係する可能性があります。
- Air Liquideは、国、企業、個人を対象として適用される国際貿易制裁および輸出規制を遵守することを約束します。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、国境を越えたビジネスパートナーと新たな関係を築く前に、適切なデューデリジェンス（適性詳細調査）を実施します。
- 私は常に警戒し、疑わしい金融取引を報告します。



### さらなる調査のための危険信号の例

- サプライヤーが正式な文書やデータの提供を拒否している。
- 通常とは異なる方法で支払いを行う必要があるサプライヤー（例：無関係な国の銀行口座、通常とは異なる方法など）、または関連のない会社や個人に支払いを要求するサプライヤー。

# 3

責任を持って行動する







## 環境保護

環境の保護は私たちの価値の中心にあります。気候変動や生物多様性の問題に対処するため、ALグループでは、昔からの取り組みを強化しており、特にCO2の排出量を削減しています。Air Liquide は、持続可能な未来に向けて行動するという決意を持っています。



### 何を知る必要がありますか？

- 特に以下のような環境への影響を最小限に抑えるために、Air Liquide は取り組んでいます。
  - エネルギー資源の最適化と廃棄物排出
  - 責任ある購買方針の実施
  - テクノロジーを適用して、当社とお客様の二酸化炭素排出量を削減
  - 低炭素社会のためのエネルギー移行ソリューションの提案
- 2015 年パリ協定を全面的に支持するALグループの気候への取り組みは、気候変動とエネルギー移行の緊急性に対処し、2025 年と 2035 年を CO2 排出量削減の重要な節目として、2050 年までのカーボンニュートラル達成を目指します。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

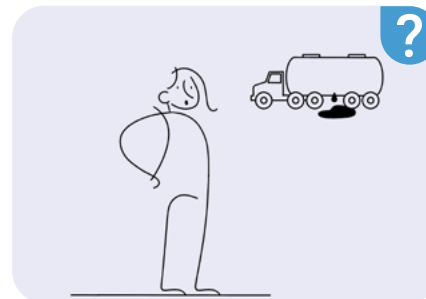
- 私は、可能な限り環境への影響を制限するために、自分の業務や行動が環境にどのように影響するかを検討します。
- 私は、環境に配慮したやり方で行動することを約束します。私は、従業員がALグループの気候変動に関する取り組みに貢献できるように設定された「クライミットアンバサダー」ネットワークに参加できます。

### さらに先へ進みたい場合は？

上司またはALグループのサステナビリティ部門に連絡し、Air Liquide ビジランスプラン (Vigilance Plan) および テイキング・アクション (Taking Action) イントラネットを参照してください。

## 実際に

### この状況では



あなたは現場でのオイルタンクトレーラーの操作を目にしています。

突然、トレーラー後部から目に見えるオイル漏れが発生します。

### どうすべきでしょうか？



オイルまたはガソリンの流出は安全問題および環境汚染に繋がる可能性があります。すぐに運転者に警告し、停止するように指示する必要があります。

次に、プラントマネージャーと HSE マネージャーに、地域の安全確保に必要な支援を受け、現地の手続きに従ってこの事象を報告するように伝えます。



### 禁止行為の例

- 耐用期間終了時において正しく資産を管理 (リサイクル、廃棄など) することを怠る
- 関連する環境規制/要件を遵守していない機器およびプロセスを使用する
- 廃棄物を指定の方法で廃棄することを怠る (例えば、水性廃棄物専用のドレンに溶剤を流すなど)

# 人権

Air Liquide は、世界中の活動において人権を尊重し、促進しています。私たちは、すべての人が敬意と尊厳をもって扱われるべきであり、企業はこれらの基本的人権の保護に役割を果たすべきであると強く信じています。

## ？ 何を知る必要がありますか？

- Air Liquide は、健康、セキュリティと安全、差別禁止、意見/表現/結社の自由、公正で適切な条件の下での労働、児童労働や現代の奴隷的労働形態の禁止など、人権の保護を完全に支持しています。
- Air Liquide は、プロフェッショナルなキャリアを通じて、継続的な学習と能力の開発を推進しています。
- Air Liquide は、福利厚生計画、医療へのアクセス、有給育児休暇など、基本的な社会保障の提供に取り組んでいます。
- Air Liquide は、国際人権法案、職場における基本原則と権利に関する国際労働機関 (ILO) 宣言、経済協力開発機構 (OECD) の多国籍企業向けガイドライン、国連 (UN) の経営と人権に関する指針に定められている原則を共有しています。また、Air Liquide は国連グローバルコンパクトの署名者でもあります。
- Air Liquide は、ビジネスパートナーがこれらの基本的人権を尊重することを期待しています。

## ✓ 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、自分の責任分野で人権を尊重し、ビジネスパートナーにもそうした基準の遵守を求めます。

さらに先へ進みたい場合は？  
上司、人事部門、法務部門に連絡し、Air Liquide ビジランスプラン (Vigilance Plan) を参照してください。

## 実際に



あなたは、当社のサプライヤーの従業員が、特に危険な作業環境にさらされているという情報を受け取りました。



あなたは、上司と調達の担当者に報告する必要があります。会社は、このビジネスパートナーを調査し、調査結果に応じて、是正措置計画の要求や関係の終了など、必要な措置を講じる必要があります。

## ✗ 禁止行為の例

- 従業員の安全とセキュリティに関連して、ALグループの要件を遵守していなかったり、またはより厳格な場合は現地の法律の要件を遵守していない下請業者と業務を行う。



## コミュニティへの貢献

Air Liquide は、環境と社会に対する関心と成長との両立に継続的に取り組んでいます。私たちは、環境・社会活動を通じて、持続可能な未来の創造と形成に貢献しています。



### 何を知る必要がありますか？

- Air Liquide は、文化と権利を尊重しながら、特に生活と環境の保護と地域社会の発展に重点を置いた地域の取り組みを行っています。これらの取り組みは、Air Liquide S.A.、ALグループの事業体、または Air Liquide Foundation によって直接実行されます。
- Air Liquide Foundation は、科学の進歩に貢献し、医療および環境研究、地域開発および教育プロジェクトの支援など、Air Liquide の専門知識と地域の存在を活用したコミュニティの発展に貢献しています。



### 私は何を期待されているのでしょうか？

- 私は、地域社会との間で礼儀正しくオープンな関係を築きます。
- 私は、地域の取り組みを自分の事業体に提案したり、プロジェクトを Air Liquide Foundation に提案したりできます。
- 私は、ALグループのギフトポリシーの関連セクションに記載されている寄付に関するルールに従い、実際の利益相反またはその可能性を回避します。



### さらに先へ進みたい場合は？

上司または地域の広報部門のマネージャーに連絡して、財団の Web サイトまたは ALグループのギフトポリシーを参照してください。

## 実際に

### この状況では



あなたは、障害を持つ若年成人の雇用を促進する非営利団体に関わっています。この組織は、プログラムを実施するための資金を必要としており、サイト訪問やメンタープログラムなどのイベントを積極的に計画しています。

あなたは、求職者と能力を必要とする専門家間の橋渡しをして、この組織をさらにサポートしたいと考えています。

### どうすべきでしょうか？



あなたはこのプロジェクトについて上司と話し合うことができ、上司はこのリクエストが Air Liquide のポリシーおよびコンプライアンスルールに沿っているかどうかを確認でき、あなたはこのプロジェクトのレビューを Air Liquide Foundation に依頼することができます。

# 4

実践





## ツールボックス： 適切に自問してください

倫理的な質問に対する回答が見つかりませんでした...ここでは、適切な答えを見つけるためのセルフテストガイドを紹介します。

行動を決断する前に、以下について自問してください。

- 1 自分の行動のすべてのリスクと結果を誠実に考慮しましたか？
- 2 この行為は法律を遵守したものですか？
- 3 それは Air Liquide 行動規範またはその他の関連する内部ガイドラインおよび手続きを遵守したものですか？
- 4 この行為は、Air Liquide またはそのステークホルダーに悪影響を及ぼしますか？
- 5 自分の行動が公開されることに対して懸念がありますか？



上記の質問に対する回答に懸念がある場合は、予定している行動を取らないでください。代わりに、意思決定を行う前に、上司、法務部門、または倫理担当者に相談する必要があります。





## 声を上げてください!

本行動規範または適用法の対象範囲から外れる不適切な行動に心当たりがある人は、報告することをお勧めします。

### 誰と話すことができるか?

- 自分の上司
- 人事部門
- 倫理担当者
- ALグループの内部通報プラットフォーム

### いつ報告するか?

本規範または適用法に違反したと判断する理由がある場合は、いつでも通報を行うことができます。

### あなたの報告は秘密情報ですか?

報告は、調査のニーズに合わせて、整合性、機密性、および適用される法律や規制を遵守して取り扱われます。

## EthiCall プラットフォーム...

EthiCall は、Air Liquide が事業を展開しているほぼすべての国において、ALグループで話されている全ての言語にて、24 時間年中無休で利用できる通報システムです。また、通報を行いたいステークホルダーにも公開されています。外部サービスプロバイダーによって管理されるプラットフォームは安全であり、アクセス権は通報の受信または処理を許可された担当者に限定されます。

### EthiCall で通報を行う方法を教えてください。

1. 電話またはインターネットを使用して、通報を行うことができます (各国の電話番号は Ethicall プラットフォームに掲載されています)。
2. 通報の登録後、受信確認として、固有のユーザー名と安全なパスワードが付与されます。それらを安全な場所に保管しましょう。あなたは通報の進捗をフォローすることが可能になります。
3. 報告は登録され、Air Liquide の関係者に送信され、さらに調査されます。
4. 調査を適切に実施するために、さらに質問が必要になる場合があります。
5. 調査に関するフィードバックは、通常 2 カ月以内に提供されます。

## EthicsPoint プラットフォーム

Airgas の従業員は、EthicsPoint を使用して通報を行うこともできます (英語のみ)。このプロセスでは、前述の手順と非常に似た手順に従います。

### 通報は匿名のままにできますか?

国の法律で認められている場合、匿名のままにすることができます。

### 私は保護されますか?

誠実に違反の可能性を報告した従業員は、報告に関連する懲戒措置や報復の対象にはなりません。

### さらに先へ進みたい場合は?

上司または倫理担当者に連絡して、Group Ethics イン트라ネットおよび AL グループ内部通報ポリシーを参照してください。

産業および医療向けのガス、技術、およびサービスの世界的なリーダーであるAir Liquideは、78カ国の拠点に約6万4,500人の従業員を有しており、380万人以上の顧客および患者にサービスを提供しています。酸素、窒素、水素は、生命、物質、エネルギーと深い関わりのある分子です。酸素、窒素、水素はAir Liquideの科学分野の象徴であり、1902年の創業以来、企業活動の中核となっています。

## 倫理的な質問の連絡先

本規範について質問や疑問がある場合は、倫理担当者およびグループ倫理担当役員に相談して、倫理に関する質問に対するサポートを求めてください。連絡先の詳細については、Group Ethics イン트라ネットを参照してください。